



市民あいさつ運動日・3月14日(金) 市民全体で声かけ、あいさつを輝く親に!

未成年者の喫煙防止へ たばこ自動販売機が 「成人識別たばこ自動販売機」 に変わります



鹿児島県では、全国に先駆け
て本年3月1日から、たばこを
自動販売機で購入する際に、成
人識別カード「タスポ」が必要
となります。これは、未成年者
による自動販売機でのたばこ購
入を防ぎ、喫煙防止に役立って
ることを目的としています。
未成年者に、大人がカードを
貸したり、無断利用されたりし
ないように、カードの管理には
十分気をつけましょう。
未成年者の喫煙防止活動は、
家庭、学校、地域全体で取り組
むべき問題です。

春の「郷土」(心なまこと)に学び 育む青少年運動月間 (3月11日～4月10日)

この取り組みは、鹿児島島の古くか
らの伝統である地域で青少年を育て
る気風を盛り上げ、郷土に根ざした
グローバルな人材を育成するため、
家庭・学校・職場・地域等が一体と
なって、青少年が主体的に活動する
ための場や機会を確保し、地域ぐる
みで青少年の健全育成を推進しよ
うとするものです。

■ 青少年の健全育成を推進するため

① 家庭や地域の中で青少年が自分で
考え、判断し、決定し、行動できる
場や機会を設け、青少年の主体的な
活動を促進しよう。

② ボランティア活動や交流活動等の
さまざまな社会貢献活動を通して、
社会の一員としての責任と誇りを自
覚させよう。

③ 親・大人が、子どもの良き手本と
して行動し、大人自身が、社会の基
本的なモラルやルールを次の世代に
伝えていこう。

④ 家庭は、青少年が自立するための
最も必要とされる基本的な生活習慣
や豊かな情操を身につける場です。
学校は、教育活動の中で、児童・生
徒が自ら学び、考え、行動する力を
身につける場です。そして、地域は
自然体験や社会体験等の豊富な体験
を通して、ふるさとを愛する心や社
会性を身につける場です。家庭・学
校・地域等が連携し、それぞれの役
割を果たしながら地域ぐるみで青少
年を育んでいこう。

アンチエイジングのために～ 今日から始める『ダイエット』④

体力のない人や運動習慣のない人は、軽い運動から始めましょう。

おしりをきたえる!

お尻を中心に太ももの後側まできた
える運動です。無理に脚を上げる必要
はありません。意識しておしりやもも
の裏側の筋肉を使うことが大切です。
(イスを使用する場合は、グラグラし
ない安定の良いものを選びましょう)



①イスの背を両手で持ち、
背筋を伸ばします。腰の位
置を固定したまま、おしり
に力をいれます。

②脚をかかとからゆっくりと後ろ
に持ち上げます。1秒間静止し、
ゆっくりと脚を下ろします。脚を
かえて同様に行います。この時、
腰を反ったり、上半身が前に傾か
ないように注意しましょう。

新着本



その痛みは「うつ病」
かもしれません
●大塚明彦 (著)

チェスト!
●登坂恵里香 (著)

絵本佐賀のがばい
ばあちゃん
●島田洋七 (作)
安藤勇寿 (絵)

市ホームページで、
新着本をご覧になれます

「図書館だより」には新着本
の一部しか掲載されませんが、
ホームページ(市からのお知らせ)
で、すべての新着本の
情報を掲載しています。ぜひ
ご利用ください。

新1年生に すすめる本展

3月22日(土)～4月11日(金)
新入学児童向けの本を展示・貸出します。



第138回 芥川賞 直木賞

芥川賞

「乳と卵」
川上 未映子 (著)

■姉の巻子とその娘・緑子が大阪からやってきたに
きた。39歳の姉は豊胸手術をもくろんでいる。姉は
言葉が発しない。そして3人の不思議な夏の3日間
が過ぎてゆく...



直木賞

「私の男」
桜庭 一樹 (著)

■優雅だが、どこからかふれた男。一見、大人しそ
うな若い女。アパートの押入れから漂う、罪の異臭。
家族の愛とはなにか。この世の裂け目に墮ちた父娘
の過去を圧倒的な筆力で描ききった著者の真骨頂。

図書館 だより

No.191
市立図書館 ☎ 72-9254
★開館時間 9:30～18:00

【本が立っています!】図書館の本は、
大切な市民の財産。大事に扱います。
濡らしたり、シミ、落書き、破損等された
場合、弁償していただくこともあります。

カレンダー 3月10日～4月9日

日	月	火	水	木	金	土
3月10日	11	12	13	14	15	
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9			

● 休館日
■ 絵本や紙芝居の読みきかせ
毎週水曜日 午後3時半～

花粉症って何?



■そろそろ、繰り返すくしゃみ、鼻水、鼻づまりで悩まされる方がいらっしゃるのでは?今回は『花粉症』に関して調べてみました。

▼花粉症はアレルギー疾患のひとつです。なぜアレルギーが起きるのでしょうか。私たちの体はウィルスや細菌から体を守る「免疫」という大切な機能によって外敵から守られています。免疫とは、体に入ってくるウィルスなどの異物を攻撃する「抗体」をつくる仕組みのこと。しかし、頼りになるはずの「抗体」が自分の体に悪い影響を与えてしまうのがアレルギーです。アレルギーを引き起こす物質をアレルゲンといい、花粉症の場合、スギやヒノキなど60種類以上の原因が考えられています。一般に、くしゃみ・鼻水・鼻づまり・目のかゆみが4大症状と呼ばれているようです。感冒との違いは、さらさらした鼻水や目のかゆみはアレルギーの可能性が高く、鼻かぜでは数日のうちに鼻水は粘性の高いものになり、さらさら黄色や緑など色のついたものとなります。また、屋外で症状が強くなる場合はアレルギー

の可能性があると云えます。もちろん症状には個人差があります。▼治療についてお話しします。ほとんどが症状に対して行う「対症療法」です。症状が出る前から予防的に薬を服用するなど、このことを初期治療(療法)などと呼び、症状が出てからも比較的コントロールできている状態に維持することを保存的治療などと呼ぶことがあります。スギ花粉症のシーズン前には、飛散開始時期の予測が出されるので、それを目安に2週間程度前に受診し、適切な薬の処方を受けて使用を始めるとういこと言われています。花粉症の症状はアレルゲンと接触したときのみ現れるので、このため花粉との接触を断つことがもっとも効果的な対策です。外出時のゴーグルやマスクは効果的で、花粉の付着しにくい上着を着用したり、帰宅時に玄関の外で花粉を落とすことから入室するなどの対策も有効です。換気などのために窓を開けることはもちろん、洗濯物や布団などを屋外に干すことも避けるべきです。床の花粉を舞い上げないように、掃除機ではなく濡れぞうきんによる拭き掃除が推奨されています。花粉症でお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

■外来看護師長 森 直美